Chapter 9
帳票ファイル・メールからのレコード取り込み

帳票ファイルやメールに記入された内容をレコードとして取り込む上で、必要なデータベース設定方法や、取り込み操作の手順を説明した資料です。

メールと帳票ファイルを組み合わせて利用することで、社外などUnitBaseに直接アクセスできない環境からもレコードを登録することができます。

Chapter 9：帳票ファイル・メールからのレコード取り込み

- ◆ 帳票ファイルからのレコード取り込み
- ◆ メールからのレコード取り込み

株式会社ジャストシステム

©2020 JustSystems Corporation

帳票ファイルからのレコード取り込み

帳票ファイルからレコードを取り込む

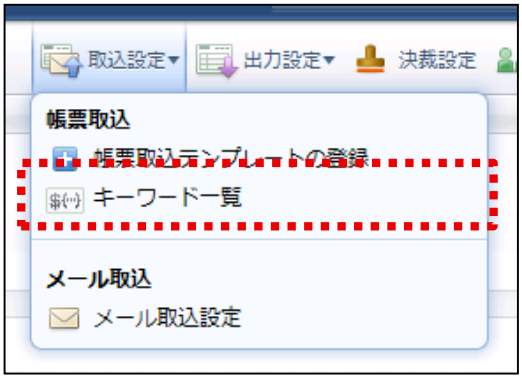
帳票ファイルとして整形されているデータをレコードとして取り込むことができます。

帳票取り込みを利用するには、あらかじめ帳票取込テンプレートをデータベースに登録しておく必要があります。

□ 帳票取込テンプレートの作成

帳票出力テンプレートとして、Excelで通常と同じように帳票を作成し、UnitBaseにフィールドのデータを取り込むセルに「キーワード」を記入したExcelファイルを用意します。

帳票出力テンプレートで利用可能なキーワードの一覧は、データベース編集画面の [取込設定] メニューから [キーワード一覧] で参照できます。



データベース編集画面の [取込設定] メニューから [キーワード一覧] を選択

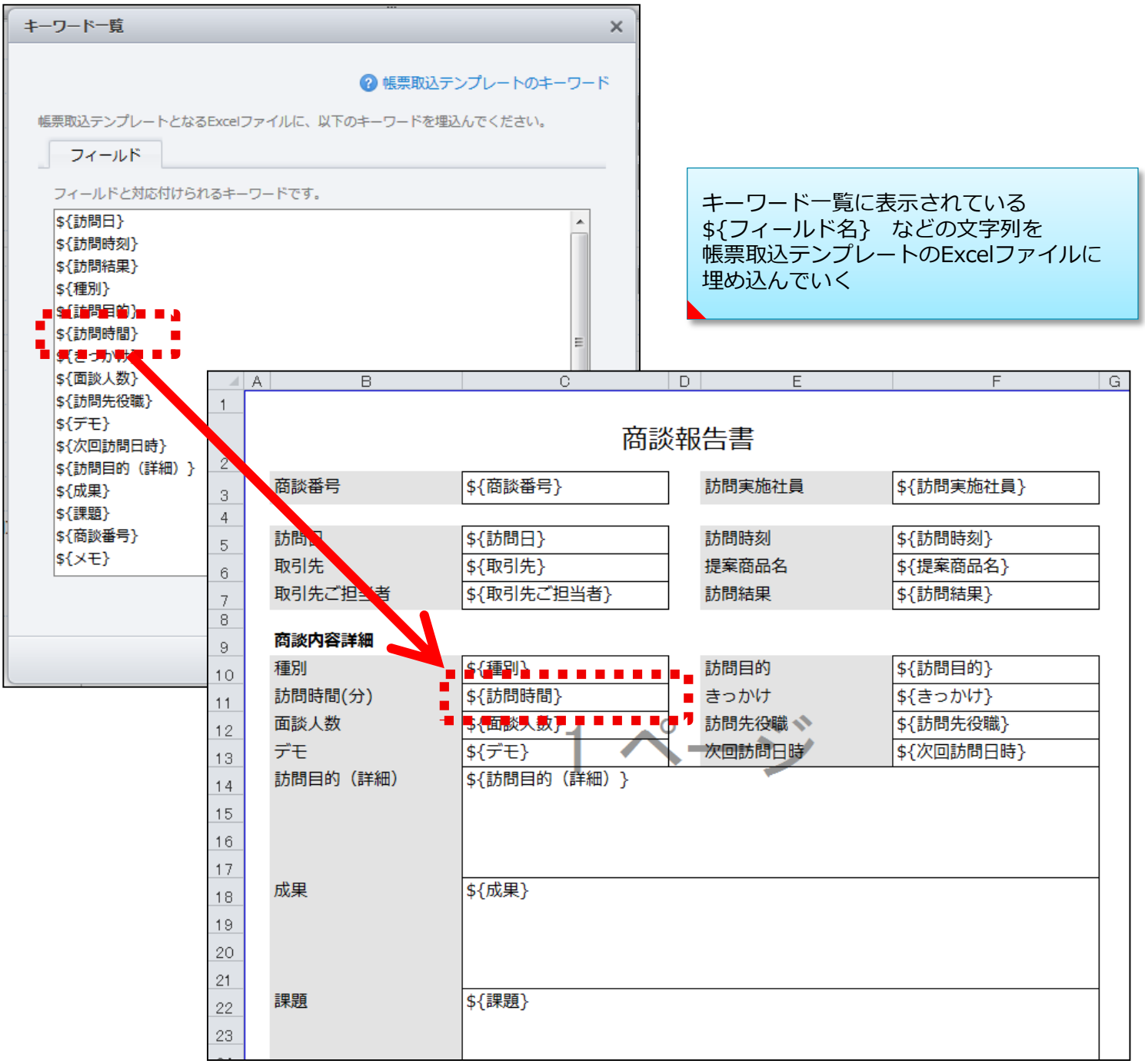
利用可能なキーワードの一覧が表示されます

©2020 JustSystems Corporation

帳票ファイルからのレコード取り込み

帳票ファイルからレコードを取り込む

◻ 帳票取込テンプレートの作成



キーワード一覧に表示されている
${フィールド名}　などの文字列を
帳票取込テンプレートのExcelファイルに
埋め込んでいく

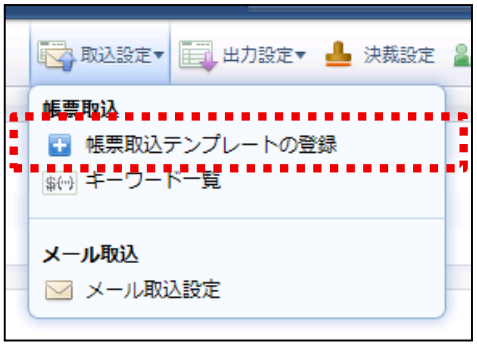
帳票取込テンプレートの書式などの詳細は多岐に渡るため、本セミナーでは割愛します。
詳細についてはUnitBaseヘルプの「11. 付録」＞「帳票取込テンプレートファイルについて」の項目、ならびにマニュアル「帳票活用ガイド」をご確認ください。

©2020 JustSystems Corporation

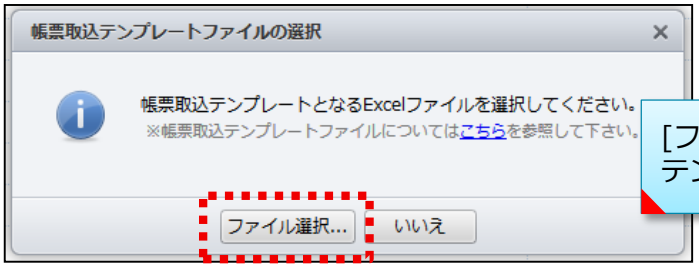
帳票ファイルからのレコード取り込み

帳票ファイルからレコードを取り込む

◻ 帳票取込テンプレートの登録

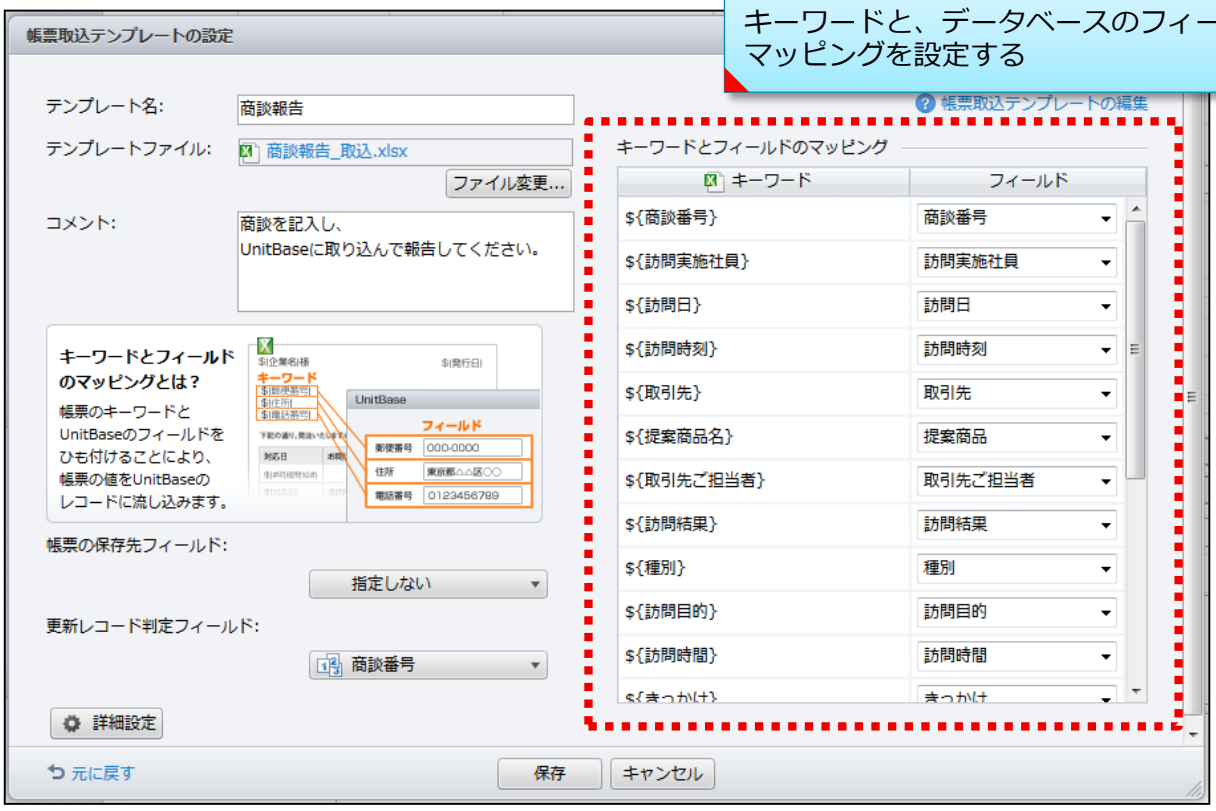


データベース編集画面の [取込設定] メニューから
[帳票取込テンプレートの登録] を選択



[ファイル選択] ボタンをクリックして
テンプレートのExcelファイルを選択

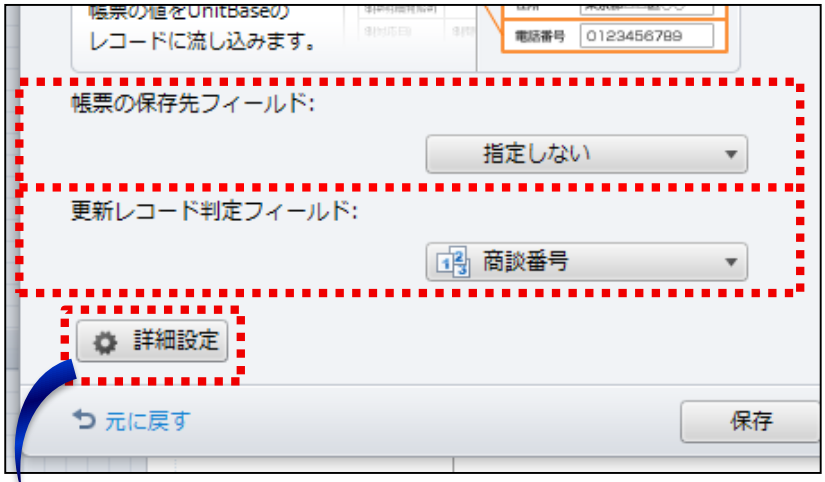
帳票取込テンプレートファイルに記述されている
キーワードと、データベースのフィールドとの
マッピングを設定する



帳票ファイルからのレコード取り込み

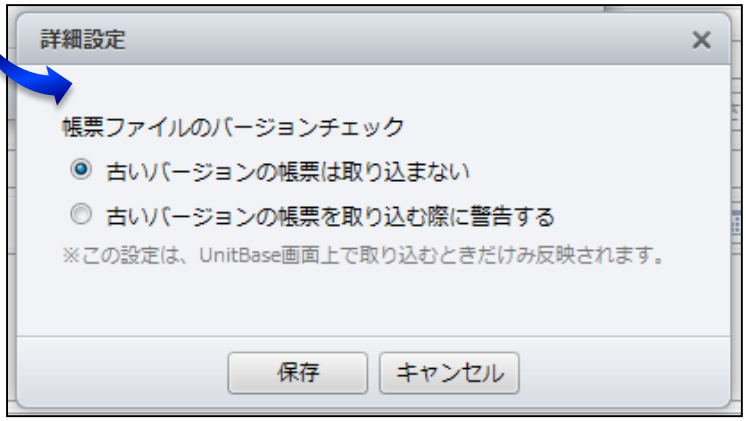
帳票ファイルからレコードを取り込む

◻ 帳票取込テンプレートの登録



ファイルフィールドを指定することで取り込んだExcelファイルをレコードに保存しておくことが可能

上書き更新する際に更新判定に使うフィールドを指定
(指定しない場合は常に新規レコードとして登録)



[詳細設定] より、バージョンが一致しない帳票ファイルを取り込んだ場合の動作を設定可能
（※詳細は下記）

■補足：帳票ファイルのバージョンについて
レコード一覧画面からダウンロードできるデータ記入用テンプレートには、Excelファイルのユーザープロパティに「ub_imptempl_version」としてバージョン情報が記録されています。
バージョン情報は、帳票取込テンプレートの以下の項目が変更された場合に変化します。

- 帳票取込テンプレートファイルの再アップロード
- キーワードの個数
- キーワードの位置
- キーワード名
- キーワードの関連付け先フィールド

バージョンが古いテンプレートは、現在運用中のテンプレートと書式やキーワードが異なる可能性があるため、正常に取り込みできない場合があります。
そのため、上記の [詳細設定] で古いバージョンの帳票から取り込みを行おうとした場合の動作を設定できるようになっています。

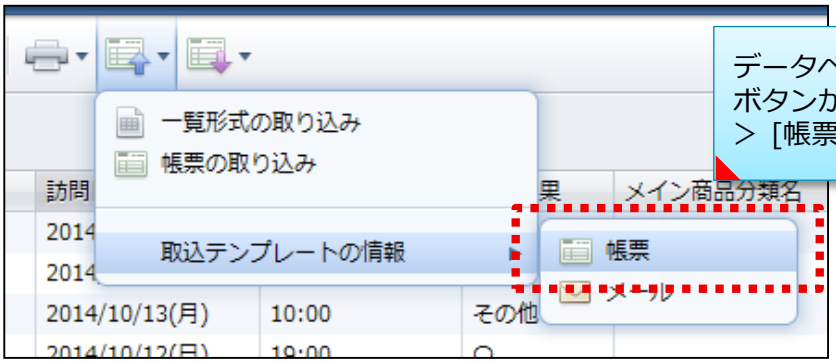
©2020 JustSystems Corporation

帳票ファイルからのレコード取り込み

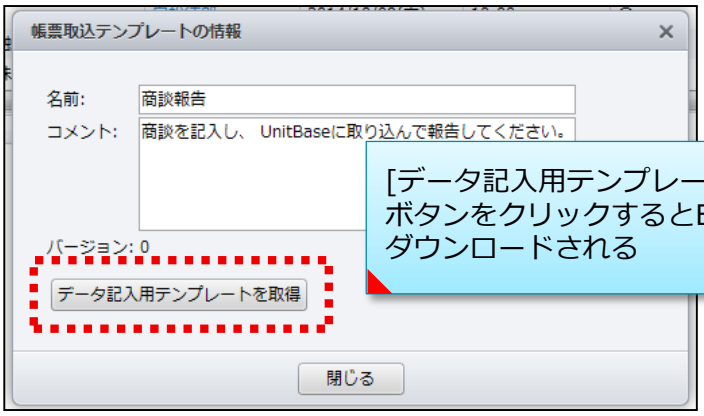
帳票ファイルからレコードを取り込む

◻ 帳票ファイルによるレコードの取込

下記の手順で取り込み用ファイルのテンプレートを取得し、必要な項目を記入します。



データベース参照画面の [取り込み] ボタンから、[取込テンプレートの情報] ＞ [帳票] をクリック



[データ記入用テンプレートを取得] ボタンをクリックするとExcelファイルがダウンロードされる

ダウンロードしたテンプレートに記入してファイルを保存

商談報告書

商談番号		訪問実施社員	前田雅彦
訪問日	2017/3/15	訪問時刻	15:00
取引先	株式会社○○システム	提案商品名	デスクトップパソコン
取引先ご担当者	森徹也	訪問結果	△

商談内容詳細

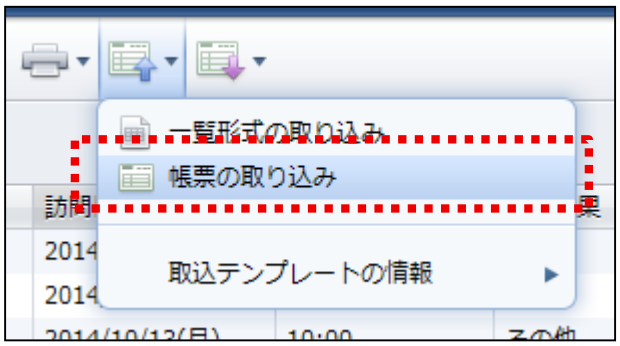
種別	既存	訪問目的	PR
訪問時間(分)	60	きっかけ	DM
面談人数	1人	訪問先役職	
デモ	デモ実施	次回訪問日時	
訪問目的（詳細）	新機種のデモンストレーション。従来機種との差異を中心に説明。		
成果	ノートパソコンの新機種について、実機によるデモを希望された。 次回の訪問日程を調整中。		

1ページ

帳票ファイルからのレコード取り込み

帳票ファイルからレコードを取り込む

◻ 帳票ファイルによるレコードの取込



データベース参照画面の [取り込み] ボタンから [帳票の取込] をクリックし、取り込むExcelファイルを選択

商談番号	S00000021		
訪問日	2017/03/15(水)	訪問時刻	15:00
提案商品	デスクトップパソコン	取引先	株式会社○○システム
訪問結果	△	取引先ご担当者	森徹也
社内担当情報			
訪問実施社員	前田雅彦	内線番号	
商談内容詳細			
種別	既存	訪問目的	PR
訪問時間	1時間 0分	きっかけ	DM
面談人数	1人	訪問先役職	
デモ	デモ実施	次回訪問日時	
訪問目的（詳細）	新機種のデモンストレーション。従来機種との差異を中心に説明。		
成果	ノートパソコンの新機種について、実機によるデモを希望された。 次回の訪問日程を調整中。		

帳票に記入した内容で
レコードが登録／更新される

- ✓ Microsoft Excel ブック形式 (.xlsx) / 97-2003 ブック形式 (.xls) を取り込み可能です
  - 取り込めるのは1枚目のシートにあるデータのみ
  - ファイルは最大20MBまで

- ✓ 取り込むファイルのデータは、UnitBaseの各フィールドに取り込める書式で記述されている必要があります
- ✓ 使用されている関数によってはUnitBaseにデータを取り込めない場合があります

©2020 JustSystems Corporation

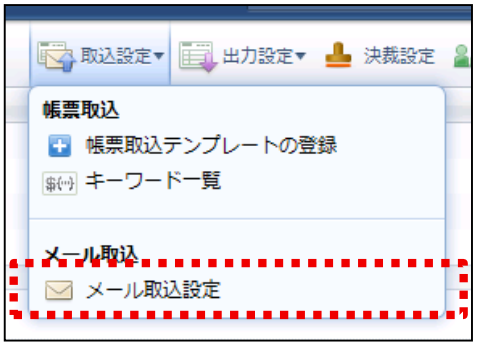
メールからのレコード取り込み

メールからレコードを取り込む

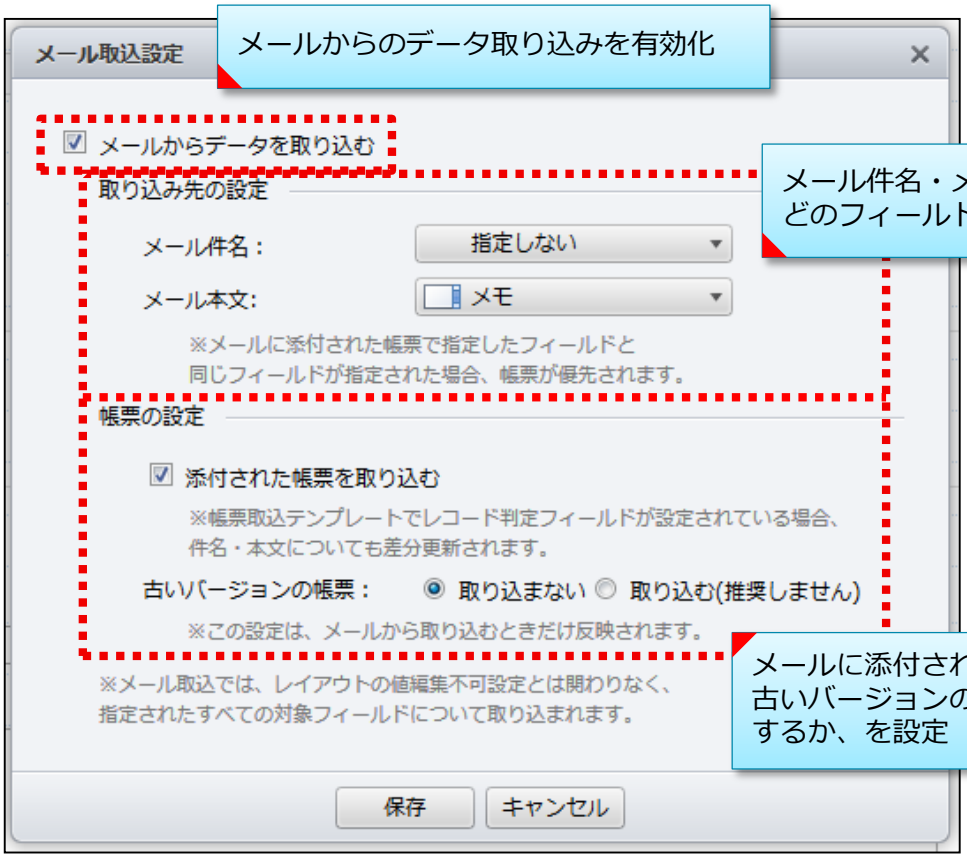
メールの内容や、メールに添付された帳票ファイルをレコードとして取り込むことができます。

メール取り込みを利用するには、あらかじめ管理者により受信メールサーバーなどの設定をしておく必要があります。（初期設定を参照）
また、データベースにメール取込の設定を行っておく必要があります。

◻ メール取込の設定



データベース編集画面の [取込設定] メニューから
[メール取込設定] を選択



メールからのデータ取り込みを有効化

メール件名・メール本文の内容をそれぞれ
どのフィールドに取り込むかを選択

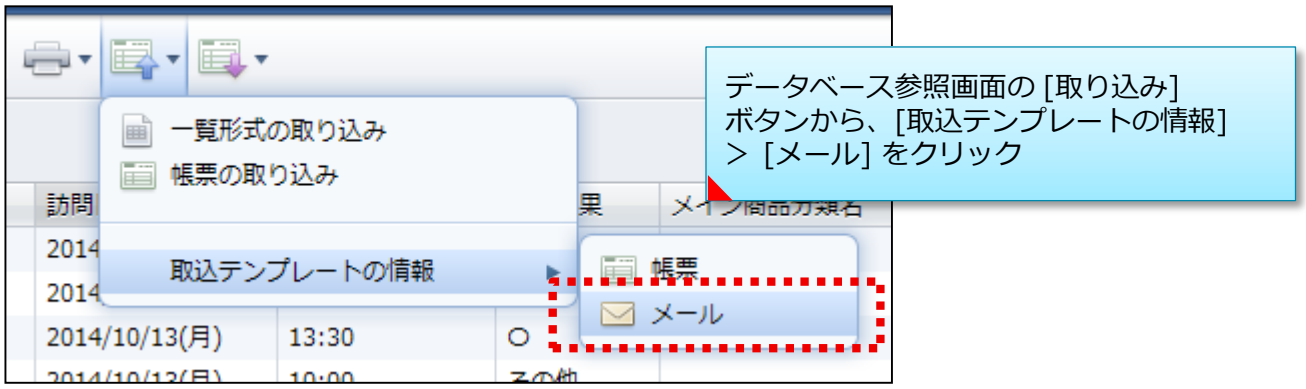
メールに添付された帳票を取り込むか、
古いバージョンの帳票を取り込み対象に
するか、を設定

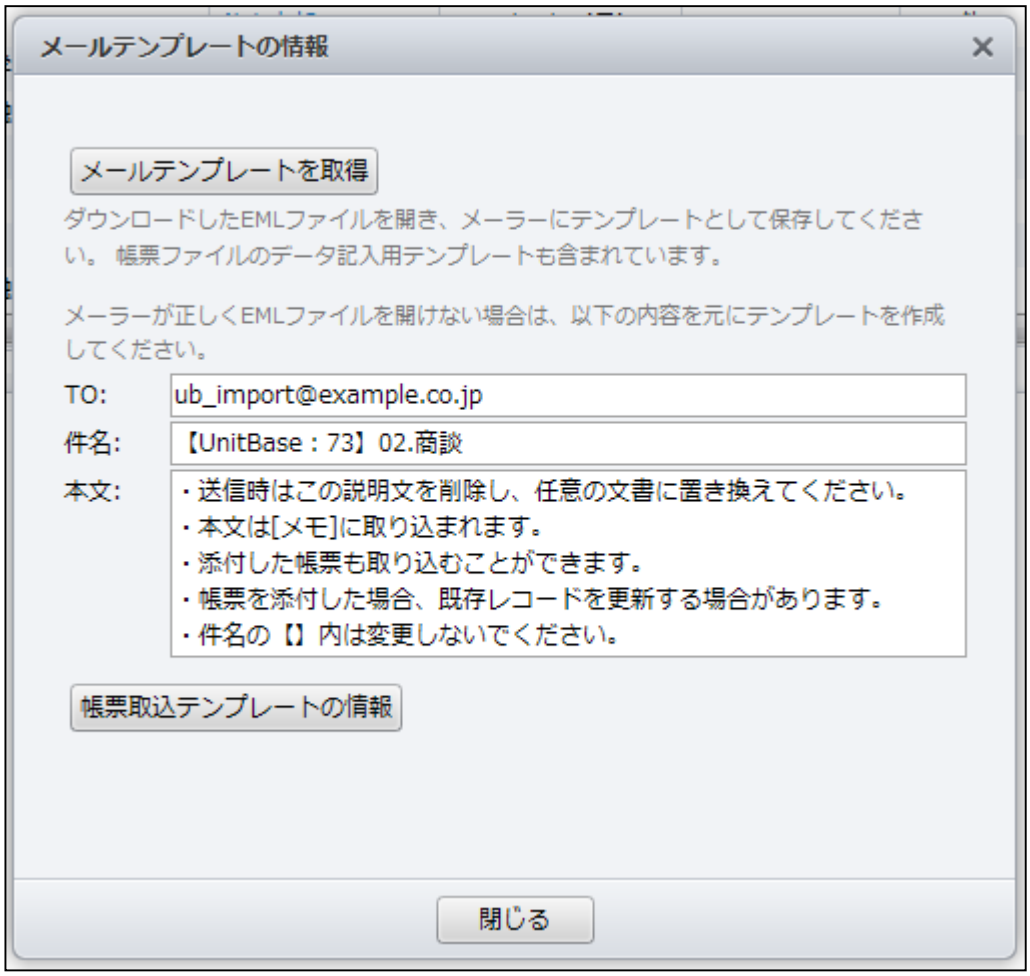
©2020 JustSystems Corporation

メールからのレコード取り込み

メールからレコードを取り込む

◘ メールによるレコードの取込





[メールテンプレートを取得] で保存される拡張子 .eml ファイルを元にメールを作成するか、ダイアログに表示されている「TO:」「件名:」「本文:」の内容で新規メールを作成して送信します。

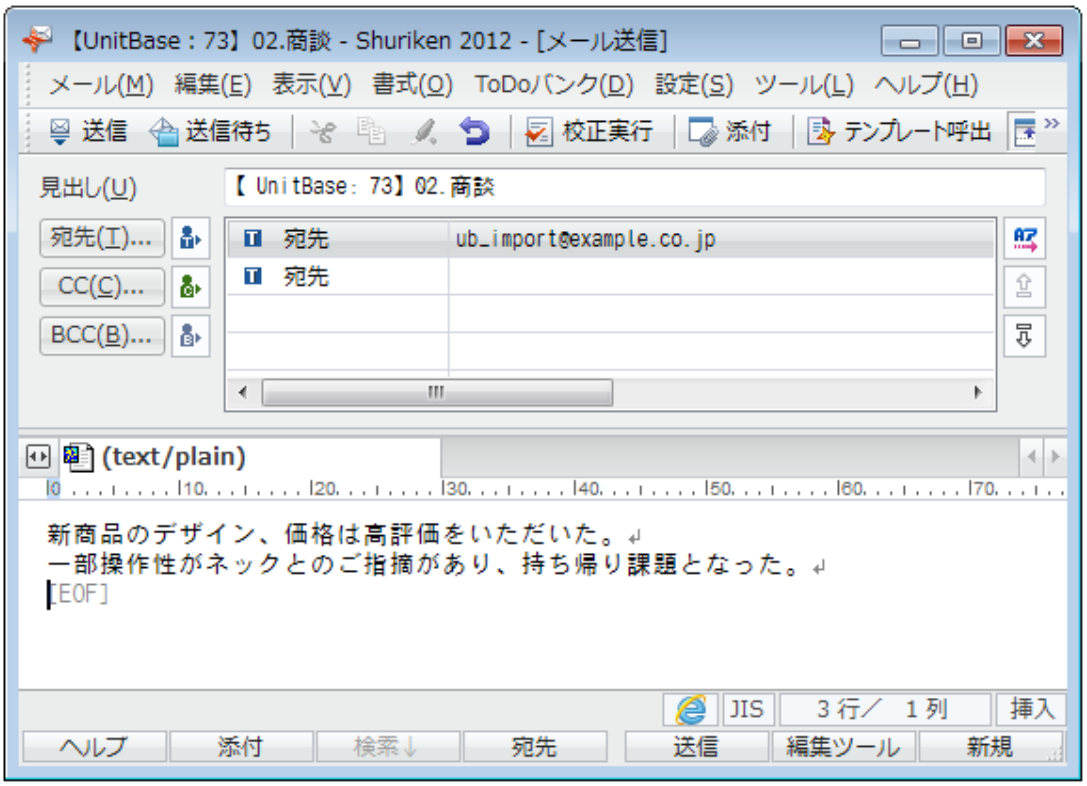
[帳票取込テンプレートの情報] から帳票のテンプレートファイルをダウンロードすることも可能です。

©2020 JustSystems Corporation

メールからのレコード取り込み

メールからレコードを取り込む

◻ メールによるレコードの取込



メールの件名、本文、添付した帳票ファイルの内容を元にレコードが登録／更新されます。

- ✓ メール取込によるレコードの作成日時あるいは更新日時は、UnitBaseがメールをレコードとして取込処理を実行した日時となるため、メールの送信日時とは一致しません。
- ✓ レコードの作成者／更新者は、送信元のメールアドレスを持つUnitBaseユーザーになります。同じメールアドレスが複数のユーザーに設定されている場合は取込エラーとなります。

- ✓ メール取込の成功・失敗にかかわらず、メール取込用として送信されたメールは、取込用メールアドレスの受信サーバーから消去されます。取込用に送信したメールは、バックアップとしてメーラーに保存しておくことをおすすめします。

©2020 JustSystems Corporation